

改修案① 【普通教室】



現状

普通教室の背面ロッカーは、ランドセルが収納できる程度の大きさであり、その他の道具や教科書の収納は困難です。

児童生徒が重量のある教科書類を全て持ち帰る負担が指摘され、学校に置いておくことが許容されていることから、背面ロッカーの改修、または別にロッカーを設置し、教科書等が収納できる場所を確保します。

設置するロッカーの大きさや位置については、教室内のスペースへの影響も加味し決定します。



改修例

改修案② 【特別教室】 コンピュータ室



現状

国のGIGAスクール構想の前倒しにより、令和2年度中に児童生徒1人1台のタブレット端末を配置するとともに、大容量・高速通信に対応した校内LAN環境の整備を実施します。

全ての普通教室・特別教室でネットワーク接続が可能となり、専用のコンピュータ室は不要となることから、話し合い学習や異学年交流、時にはランチルームなど、様々な活動に使用できる多目的室に改修します。

また、その他の特別教室についても、各教科の必要な機能は維持しながら可能な限り多目的な利用が可能となるよう改修を行います。



改修例

改修案③ 【特別教室】 図書館



現状

見沼中学校の図書蔵書7,000冊（標準冊数6,080冊）に加え、小学校の図書（標準冊数6,080冊）を新たに所蔵する必要があります。

そのため、小学生でも手の届く背の低い書架などを追加して配置するとともに、窓際の明るい位置に閲覧席を設けるなど、児童生徒が利用したくなる学校図書館としてリニューアルします。

また、データによる蔵書管理・貸出を可能にするとともに、インターネットを活用した調べもの学習にも活用できるようパソコンを配置し、図書だけでなくデジタル情報を入手することのできるメディアセンターとしての機能をもつ図書館を目指します。



改修例